

2009 年度バイオクライマティックデザイン小委員会 第 1 回議事録

日時：2009 年 5 月 15 日（金）17:00-19:30

場所：建築会館 会議室

出席者：

川西利昌（日本大学）、北瀬幹哉（環デザイン舎）、斉藤雅也（札幌市立大学）、鈴木伸恵（武蔵工業大学）、須永修通（首都大学東京）、長谷川兼一（秋田県立大学）、廣谷純子（オーガニックテーブル（株））、宇野朋子（東京文化財研究所）

資料：

- 09-2-1 議事次第
- 09-2-2 出版用資料（企画案 ver.6）：長谷川委員
- 09-2-3 環境工学用教材 資料：宇野幹事
- 09-2-4 愛知万博会場の線・面日除け率：川西先生

議題議事録：

1) 出版本について（長谷川 出版本 WG 主査より）

第 1 章と第 2 章の構成について検討を行なった。第 1 章と 2 章の繋がりが明確でない。

第 2 章の紹介事例の繋がりに明確にする必要がある。現代建築の扱い。住宅か非住宅かの統一性など。

2) 建築学会環境工学用教材について（宇野委員より）

たたき台を作成した。パッシブ設計手法辞典（彰国社）を参考にする。

バイオ小委員会できりまとめて執筆・分担する。

3) 話題提供について

日本大学の川西利昌先生にご出席いただき、愛知万博の際の紫外線防止用の遮へい効果に関する実測結果についての解説をいただいた。愛知万博では、来場者のパビリオンへの待ち時間などの際に、待合スペースや休憩場における日射遮へいが十分に行なわれないために、日射病・熱射病の症状を訴える来場者が多くを占めたが、紫外線防止への対策についても十分でないことが測定結果より明らかになった。今後、万博のような大規模イベントにおける日射および紫外線対策が急務であることが浮き彫りになった。

以上

作成：斉藤雅也（札幌市立大学）